

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第262号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成21年5月5日 08時00分ごろ	
発生場所	沖縄県沖大東島西方沖（概位 北緯22°43′ 東経128°27′）	
事故等調査の経過	平成21年8月31日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 第二十一若宮丸^{わかみや}、19トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 ON2-0437（漁船登録番号）、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 機関長、三級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	主機始動電動機焼損	
事故等の経過	<p>本船は、フィリピン諸島東方沖での操業を終え、主たる根拠地である沖縄県那覇港に向けて航行中、平成21年5月5日08時00分ごろ、主機の回転数が突然低下し始め、間もなく自停した。</p> <p>主機各部の点検が行われたが自停の原因が分からず、始動操作を繰り返すうち、始動電動機の電磁コイルが焼損して主機の始動が出来なくなり、運航不能に陥った。</p> <p>本船は、救助を依頼し、来援したタグボートによって那覇港にえい航された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風力 4、視界 良好</p> <p>海象：うねり わずか、波高 約2.5m</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>主機燃料油系統に取り付けられている「こし器」が目詰まりし、燃料油の供給が途絶えて自停したものと考えられる。さらに、自停した主機の始動操作を繰り返すうち、始動電動機が焼損して主機の始動が不能となったものと考えられる。</p>
原因	本インシデントは、本船が大東島沖を那覇港に向け航行中、主機の燃料油こし器が目詰まりし、燃料油の供給が途絶えて主機が自停したことから、始動操作を繰り返すうち、始動電動機が焼損したため、主機の始動が出来なくなったことにより発生したものと考えられる。	